

塩冶地区

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩冶地区社会福祉協議会 事務所 塩冶コミュニティセンター内 TEL 21-0248
塩冶社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>

・・・日本文化体験の集い「食文化体験」・・・

青少年育成部では日本の伝統的な遊びや食事づくりを通して、外国籍の子どもたちに日本の文化に親しんでもらう取り組みを行っています。

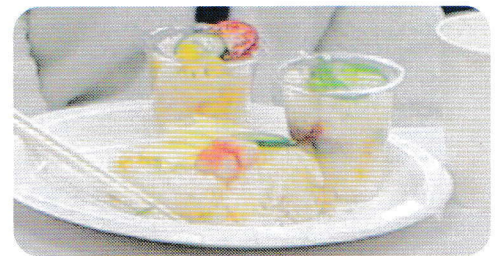
2月7日(金)、塩冶コミュニティセンターの調理室に様々な国籍の子ども33人とその保護者、NPO 法人エスペランサのみなさんにもお手伝いいただき、デコレーション寿司を作りました。

講師の栄養士 吉田佳奈先生から作り方を習うと、子供たちは早速お寿司づくりに挑戦です。

牛乳パックで作った型やプリンカップにお寿司と具材を交互に詰めていきます。具材は炒り卵や鶏のそぼろ、トマトやきぬさやなど、カラフルで美味しそう。お父さんお母さんと一緒のお寿司づくりが嬉しくて、子どもたちの歓声が調理室に響きました。

今回の参加者は小学生以外に4人の中学生や保護者、スタッフも合わせて68人と大盛況でした。

一方で、アレルギーの子どもやイスラム圏の子どもが食べられない食材があったことなど、次回に向けての改善課題もありました。NPO 法人エスペランサの皆さんとも相談し、子どもたちに沿った体験講座にしたいと思います。(青少年育成部)



福祉座談会

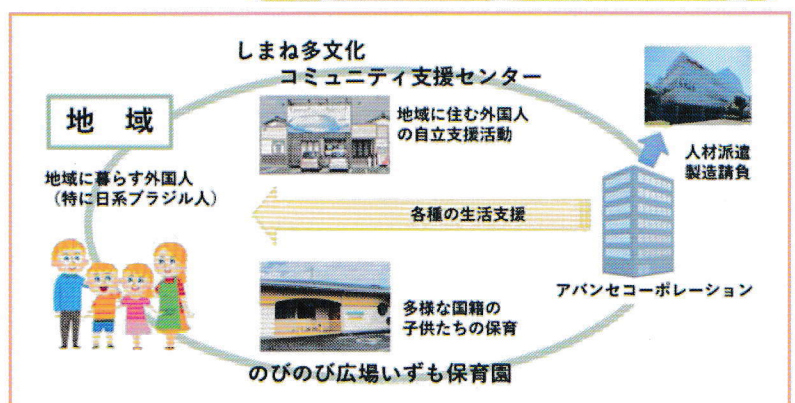
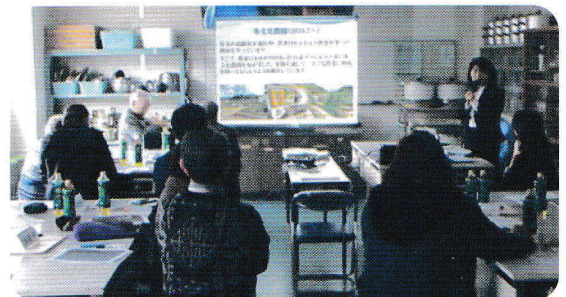
“アバンセコーポレーションとの意見交換会”

1月18日(土)、本年度第2回目の福祉座談会を開催しました。

今回は多くの日系ブラジル人を雇用し、村田製作所への人材派遣や製造請負を行っている「アバンセコーポレーション」という会社です。会社では「外国人と一緒に地域と共生すること」「出雲に来た子どもたち、生まれた子たちを出雲の子として育てたい、出雲の人間として将来を担ってほしい」といった考えのもとに、日系ブラジル人への生活支援を行いつつ、2カ所の施設をこの塩冶に開設されています。

しまね多文化コミュニティ支援センターでは日本語教室や母国語での相談や地域交流が行われ、のびのび広場いずも保育園では多国籍の子供たちと共に日本の子どもたちも一部受け入れ、日本の保育所として子育てがされているようです。

また施設の生活支援の方からは外国人を一括りに見ないで、普通の一人の人間として交流をしてほしいとの意見もありました。(広報広聴部)



「権利と擁護」福祉研修会

2月15日(土)、社協理事と愛友会で福祉研修会を行いました。講師に出雲市社会福祉協議会いずも権利擁護センターの川本義昭様をお招きし、「地域であんしんして暮らしていくために」～日常生活自立支援事業・成年後見制度～と題して、出雲社協内にある「いずも権利擁護センター」の業務や日常生活自立支援事業についてお話いただきました。判断能力が十分でない方々が、できる限り地域で安心して自立して暮らせるように、各種のサービスを行っているとのことでした。

またこのサービスを知らない人が多いので、近くに困った人が居れば、是非とも紹介してほしいとのことでした。

- ①福祉サービスの利用援助 ②日常的金銭管理サービス
- ③書類等の預かりサービス ④定期的訪問による状況把握

※出雲社協の生活支援員の方がサービスを提供されます。



大正海上サロン会

おくすり講座とからだチェック!

11月7日(木)、本年度3回目の大正海上サロン会をドレミホールにおいて、参加者16名で行いました。

毎年恒例ですが、ファーマシー薬局の薬剤師の方々に来ていただき、薬の飲み方や取り扱い方等について、わかりやすくお話していただきました。

講演後の質疑では、予定した時間で足りないほどたくさんの質問があり、参加されたみなさんの日々の生活の参考になったようです。

その後は体脂肪率の測定や身体測定等を行い、自分の数値や体調を再認識する時間となりました。

今回も参加者の方々にはとても喜んで頂き、「来年もまたお願いします。」との声をいただきました。(理事 川上卓也)



薬の正しい服用のポイント

タイミング：食前・食後・食間など決められた時間を守る。

薬の量：自己判断で薬の量を増減しない。

方法：飲み薬はコップ1杯のお水で飲むのが原則。
必ずお薬に合った正しい飲み方が大切です。

期間：自己判断をせず指示期間は服用を続ける。

飲合せ：一緒に飲んではいけない薬や食品がある。

揚西サロン会

健康講話二題とおそばの昼食会

12月6日(金)、揚集会所において、参加者19名で揚西サロン会を行いました。

第一部は当サロン会には初めてとなりますが、寿生苑・リハビリ主任の祝部昭子さんにお運びいただきました。タイトルは「運動で転倒を予防しましょう!」

介護につながりかねない「転倒」は人ごとではありません。その原因のあれこれや、予防として、普段からの正しい姿勢、腕振りやつま先を意識しての歩き方の実技、さらに手近にできる予防のための運動の指導でした。

暖冬とはいっても、祝部講師の半袖姿での熱演と、加えて一点のよどみもない滑舌のすばらしさは参加者一同、感嘆の拍手でした。



第二部はおなじみとなった音楽療法士の金築朋子さんです。タイトルは「歌って脳トレ、さあ皆さん一緒に!」。童謡は昔の記憶が様々によりみがえります。

歌いながらのグーチョキパーや手拍子はまさに脳トレ、やはり案外と難しいものですね。さて最後は懐かしの昭和歌謡の数々にとても盛り上がりしました。金築講師にはいつものせられます。



そば定食でお昼をいただきながら会話を聴いていると・・・。「なかなか最近是这样してみんなで一緒に食事をしたり、話す機会も少なくなりましたね」「昔は縁側で『茶のん話』がどこでもあたり前にあったのに・・・」

ささやかですが、おだやかな半日でした。皆さんのコミュニケーションの場として、今回もサロン会を楽しんでいただけました。(理事 矢田邦雄)

宮松・築山 サロン会

ミニ門松作りと 年忘れ懇親会

12月22日（日）、くもり空で朝から冷え込むなか、令和元年最後のサロン会を総勢31名の方にお出かけいただき、宮松公会堂においてミニ門松作りを行いました。

準備運動で身体や手先をほぐしてから、宮松の持田理事からミニ門松作成の説明があり、その後に作業開始です。



まず土台となる器に装飾の紙を巻いていきますが、位置を合わせるのに一苦労!!

それに合せて3本の竹を組み合わせ、好きな長さに切り揃えて器に入れ、そのまわりに梅・松・南天・葉牡丹を創意工夫で飾りつけていただきました。

子どもたちもそれぞれ一生懸命に作成してくれました。バランスの取れたこだわりの世界に一つだけの立派な門松が出来上がりました。



完成した門松を前にならべて全員で記念撮影をさせていただき、その後は朝早くからやすらぎ会の皆様に準備していただいた豚汁と大きなおにぎりを沢山いただき、お腹いっぱいのお懇親会でした。



今年もお世話になった百寿会とやすらぎ会の皆様、本当にありがとうございました。感謝もうしあげます。

(宮松・築山 理事)

菅沢・下沢 サロン会

久しぶりのそば打ち体験!

2月21日（金）、今年度3回目のサロン会は久しぶりの「そば打ち体験」を下沢会館において、理事福祉委員を含めて15名の参加者で行ないました。



そば打ちの指導は安部賢治さんです。最初に実演（講習）があり、そば打ちのコツや注意点をいろいろ指導していただきました。

水回し10分、こね5分、延ばす10分、切る5分の合計30分が1サイクルとのこと。

先生からはそばを打つ人の体温によってそばの仕上がりも変わると聞き、「なかなか難しい、簡単ではないねえ」とのみなさんの声です。

その後、5班に分かれてそば打ち体験の開始です。こね鉢にそば粉を入れ、水を注ぎ、手のひらで丁寧にかき混ぜます。その後は水を少しずつ入れて、水とそば粉を馴染ませます。

粉全体に水が馴染んだら、そば生地を丸くし、中に中にと折り込み、丸い固まりにまとめます。ほどよくまとまると麺棒で薄くなるまで巻いたり広げたり…。これがなかなか難しい。

そして出来上がった麺を切ります。参加者のみなさんが作った麺は先生やそば屋さんの麺とは大違い、個性あるいろいろな太さの麺ができました。

こちらは個々に持ち帰る分とし、試食は先生に打っていただいたきれいな麺をいただきました。

そば屋さんで食べる麺とはまた違う出来立ての麺を参加者みんな、とてもおいしくいただきました。

わいわい言いながら黙々とそばを打つ1時間あまりの作業でしたが、参加者全員がとても楽しく時間を過ごすことができました。

(菅沢・下沢 理事)



ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。

今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(12月1日から2月29日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名	故人名	区域名	寄附金額

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

***** 編集後記 *****

令和2年は暖冬で始まり、農作物の成長や夏場の水に影響が心配されます。また新型コロナウイルスの爆発的広がりにより世界中が戦々恐々として、様々な面で大きな打撃になっています。他人事として考えず、一人一人可能な予防をしたいものですね。そして早急な終息を願うばかりです。

さて趣味のグラウンドゴルフ仲間が自動車の運転免許証を返上し、代わりに電動自転車を利用されるようになりました。みんな興味津々で代わる代わる試乗させてもらい、「これは楽しいわ!」と感嘆の声が上がりました。年齢が高くなると行動範囲が狭まり刺激がなくなりがちですが、将来の自分を見据え、元気で年齢を重ねる一助にしたいなあと感じたひと時でした。本格的な春を迎えます。明るい1年にしたいものですね。(理事 廣沢ますみ)

この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。

◆◆愛友会だより◆◆

“フライングディスク”交流会

愛友会
福祉委員

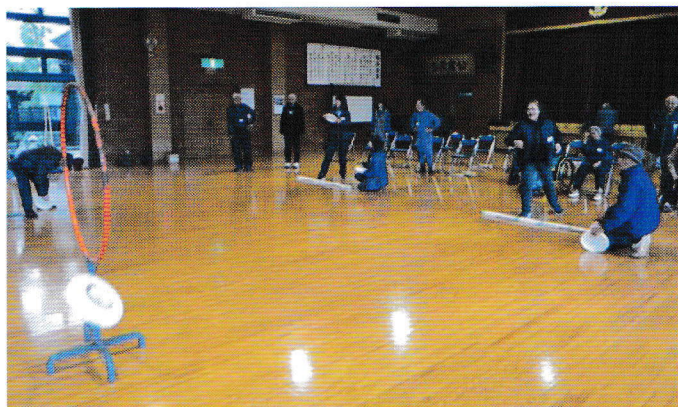
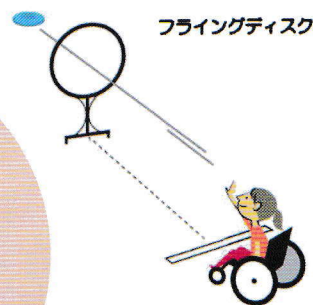
1月19日(日)、塩冶コミュニティセンター集会室において、フライングディスク交流会を行いました。

愛友会からさまざまな人々と交流を図りたいという希望があり、今回は社協福祉委員との交流として計画しました。

参加者は愛友会9名、社協理事7名、福祉委員4名の合計20名です。

愛友会の竹下英治さんよりディスクの投げ方等の説明の後、10名ずつ2班に分かれて競技を行いました。

1人10枚のディスクを手首のスナップをきかせてゴールに向けて投げ、輪をくぐらせるゲームですが、簡単ようで結構大変です。



続いてディスクを1~9の的に当てて落とすゲームも行いましたが、皆さんだんだん慣れて上達され、とても楽しく心地良い汗をかくことができました。

競技後には30分ほどでしたが菓子パンとお茶で交流の場を設け、和やかな時を過ごすことが出来ました。



今回は福祉委員との交流事業だっただけに参加者が少なくとても残念でした。

(障がい者福祉部)